

平成 30 年度 事業報告

(自:平成 30 年 4 月 1 日 至:平成 31 年 3 月 31 日)

I 事業の状況

本財団は、薬学及び関連諸分野の研究を奨励振興するため、平成 30 年度は以下の諸事業を行った。

1 研究助成金の授与

薬学及び関連諸分野の基礎並びに応用研究に関し、将来有望な若い研究者に対して、助成金を授与した。

グループ A は助成対象を化学系、物理系、生物系、医療系の各分野及びこれらの複合分野の基礎的研究から 10 件程度（1 件 80 万円、総額 800 万円）を、グループ B は次の各分野及びこれらの複合分野の応用的研究（調査・統計研究を含む）：医療現場（薬剤部・薬局）における研究、伝統医薬に関連した研究、衛生化学・環境化学を指向した研究、医薬品・医療分野における分析を対象とした研究、社会薬学・レギュラトリーサイエンス研究の応用的研究から 8 件程度（1 件 70 万円以内、総額 560 万円以内）を、それぞれ選考することとした。

グループ A は 136 件、グループ B は 71 件の応募があった。選考委員会からの授与候補者、助成金額の選考結果を受けて、理事会においてグループ A は助成金額は 1 件 80 万円で合計 10 件、グループ B は 1 件 35～70 万円で合計 9 件（総額 560 万円）に授与することを決めた。助成金授与決定研究課題及び受領者は[別紙 1]のとおりである。

2 国際学術交流補助金の授与

研究者の海外派遣補助金の授与

平成 31 年度に海外で開催される薬学及び関連諸分野の国際会議等への参加旅費等の補助を希望する研究者を対象に採択枠 2 件として募集したところ、2 件の応募があり選考の結果、2 件に各 25 万円（総額 50 万円）の補助金を授与した。補助金を授与した受領者と参加学会は[別紙 1]のとおりである。

国際学術交流補助事業のうち、海外からの研究者招聘補助と国際会議開催補助については募集を行わなかった。

3 刊行物

1) 「薬学研究の進歩-研究成果報告集 35」の刊行

平成 31 年 3 月、平成 27 年度の研究助成金受領者の研究成果を収載した「薬学研究の進歩 35」（A4 版本文 131 頁）を刊行した。

2) 機関誌「薬奨ニュース」の発行

平成 30 年 7 月及び 31 年 1 月に機関誌「薬奨ニュース No. 27、No. 28」を発行した。掲載内容は本財団のホームページにおいても公開した。

以上

第39回(平成30年度)薬学研究奨励財団
研究助成金(グループA・B)及び国際学術交流補助金(海外派遣)受領者

I 研究助成金

1 グループA(1件80万円、10件、総額800万円)

- 「マイクロ波と光照射の融合による多機能型DDS製剤がもたらす革新的
癌セラノスティックスの開発」 (京大大学生存圏研究所・研究員) 浅野麻実子
- 「ケタミンの抗うつ作用におけるセロトニン5-HT_{2A}受容体の役割」
(名城大学・薬学部・助教) 衣斐 大祐
- 「有機化学とタンパク質科学の融合による修飾タンパク質精密合成法の創成」
(徳島大学大学院・医歯薬学研究部(薬)・講師) 重永 章
- 「がん低酸素領域の精密診断・治療を可能とする代謝補足型核医学診断・
治療剤の開発」 (京都大学医学部附属病院・放射線部・助教) 志水 陽一
- 「亜鉛シグナルの破綻がもたらす脊椎手掌異形成型エーラス・ダンロス症候群の
再生医療研究：“iPS細胞を用いて希少難病の治療戦略を構築する”」
(徳島文理大学・薬学部・助教) 庄司 正樹
- 「環境調和型求電子的アミノ化反応による環状β-アミノ酸類の合成」
(微生物化学研究所・有機合成研究部・上級研究員) 野田 秀俊
- 「活性保持型PEG化プロメラインの構築と膵臓がんへの高効率な薬物送達」
(熊本大学大学院・生命科学研究部・助教) 東 大志
- 「光線力学療法を指向した超分子光増感剤の創製」
(名古屋市立大学大学院・薬学研究科・講師) 久松 洋介
- 「STINGが惹起するI型インターフェロン応答の抑制機構の解析」
(東北大学大学院・生命科学研究科・助教) 向井康治朗
- 「異常網膜血管特異的な増殖・生存シグナル関連分子のダイナミクスの
可視化法の確立と応用」 (北里大学・薬学部・嘱託助教) 森田 茜
(応募件数 136件)

2 グループB(1件35~70万円、9件、総額560万円)

- 「多価不飽和脂肪酸に着目したケトン食療法(低糖質・超高脂質食)時における
薬物動態変動要因の解明と至適投与法の開発」
(金沢大学附属病院・薬剤部・特任助教) 赤下 学
- 「大規模副作用データベースを活用した重症薬疹の*in silico*予測研究」
(名古屋市立大学大学院・薬学研究科・特任助教) 安部賀央里
- 「非小細胞肺癌におけるがん悪液質の進行度とEGFR-TKIの薬物動態および
有害作用との関係解明」 (浜松医科大学医学部附属病院・薬剤部・薬剤師) 石田 卓矢
- 「水系環境中に存在する毒性化合物と金属を基材とした複合水酸化物との
相互作用に関する研究」 (近畿大学・薬学部・講師) 緒方 文彦

- 「大気粉塵によるアレルギー性炎症モデルの樹立とその誘導メカニズムの解析」
(神戸学院大学・薬学部・助教) 小野寺 章
- 「臨床薬理学に基づく肺移植患者の個別化薬物投与設計法の確立」
(東北大学大学院・薬学研究科・講師) 菊地 正史
- 「患者参画の視点を取り入れた小児医薬品開発を推進するための基盤研究」
(慶應義塾大学・薬学部・助教) 種村菜奈枝
- 「DNA バーコーディングを利用した簡便なカエデ属植物鑑別法の開発」
(金城学院大学・薬学部・助教) 藤原 裕未
- 「非小細胞肺癌患者におけるオシメルチニブの PK/PD/Pgx の解明に基づいた個別的至適治療法の構築」
(慶應義塾大学・薬学部・助教) 横山 雄太
(応募件数 71 件)

II 国際学術交流補助金

1 研究者の海外派遣補助金 (1 件 25 万円、2 件、総額 50 万円)

「2019 年米国薬学会 年会」

2019. 11. 3～6 アメリカ サンアントニオ

(日本大学・薬学部・助教) 鈴木 直人

「第 55 回ヨーロッパ糖尿病学会」

2019. 9. 16～20 スペイン バルセロナ

(岩手医科大学・薬学部・助教) 高橋 巖

【2019 年 6 月、本人からの申し出により辞退】

(応募件数 2 件)

以上

事業報告の附属明細書

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。